

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月17日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401755		
法人名	株式会社 サポートライフ		
事業所名	グループホーム 泰安の郷 海願		
所在地	北海道函館市海岸町9番30号 (電話) 0138-62-5577		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年2月16日	評価確定日	平成21年2月23日

【情報提供票より】(平成20年12月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月3日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	14人, 非常勤 5人, 常勤換算 8.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,500 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,330 円			

(4) 利用者の概要(12月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	6 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.6 歳	最低	70 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック・函館医師会病院・函館中央病院 藤岡眼科病院・函館協会病院歯科・さこ歯科
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム主催の「夏祭り」を開催して、地域の住民や子供達、利用者やその家族、他グループホームの利用者や包括支援センター職員が参加するなど地域に密着した活動の取り組みが積極的に行われています。また、ホームが毎月発行する「海願からの潮騒」便りでは、行事参加の様子や日常生活の様子が分かりやすく掲載されていたり、認知症への理解や広報の為に「認知症マメ知識」が継続的に掲載され、職員の持つ専門知識が分かりやすく地域の人々に伝えられています。ホーム内では、職員が新聞を読み利用者とニュースへの意見交換や過去の生活暦や大事な出来事など話し合いながらケアサービスに活かしていく取り組みも行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、栄養バランスや摂取カロリー把握など専門家の助言や職員間の共有について課題が挙げられていましたが、専門家の助言やアドバイス、職員に分かりやすくカロリー表示の目安を掲示するなど取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は全ての職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果は改善の機会として捉えられ、運営推進会議にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され、主な議題についてはホーム主催の「夏祭り」の実施報告についてボランティアの受け入れ報告(ハーモニカ演奏、お化粧隊、楓立祭など)幼稚園児の「よさこい」訪問鑑賞についてインフルエンザ予防について食事の献立、メニューについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族のホーム行事の「夏祭り」や亀田八幡へのお参り、寿司・ラーメンなどの外食への日常的な行事への協力や運営推進会議での意見交換や不安への対応など話し合わせられ運営に反映される取り組みが行われています。また、来訪時に要望への意見交換や苦情など言い表せる機会も作られ「意見箱」も玄関に配置されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ハーモニカ演奏やお化粧隊、幼稚園児のよさこいなどの地域のボランティアの受け入れ、町内会の清掃活動や資源回収、夏祭りへの参加、小学校の運動会や学芸会への訪問など地域の人達との交流促進に取り組んでいます。また、地域の喫茶店でコーヒーやケーキを食したり、家族と一緒に地元のお店に外食に出かけるなど地域との連携を深める取り組みも行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の介護理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼時に理念の唱和し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ハーモニカ演奏やお化粧隊、幼稚園児のよさこいなどの地域のボランティアの受け入れ、町内会の清掃活動や資源回収、夏祭りへの参加、小学校の運動会や学芸会への訪問など地域の人達との交流促進に取り組んでいる。また、地域の喫茶店で喫茶するなど地域との連携を深める取り組みも行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全ての職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果は改善の機会として捉えられ、運営推進会議にも報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヵ月毎に定期的開催され、議事録も常備されている。委員は、利用者、家族、民生委員、包括支援センター職員、函館市職員及び管理者・職員で構成され、具体的意見を出し合いサービス向上に活かしている。		今後は、さらに多くの家族や地域の人達が参加できるような検討が行われているので期待しています。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、函館市や包括支援センター主催の研修会参加や情報交換に取り組みサービスの質の向上に取り組む努力をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「海願からの潮騒」を発行し、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、ホーム行事参加の様子など報告している。また、毎月預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、家族に報告している。又、状態変化時は、都度速やかに電話連絡などで詳細に報告している。		特筆すべき点として、ホームが毎月発行する「海願からの潮騒」便りで認知症への理解や広報の為に「認知症マメ知識」が継続的に掲載され、職員の持つ専門知識が分かりやすく地域の人々に伝えられている。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族のホーム行事の「夏祭り」や亀田八幡へのお参り、寿司・ラーメンなどの外食への日常的な行事への協力や運営推進会議、家族の来訪時での意見交換や不安への対応など話し合わせ運営に反映される取り組みが行われている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ここ一年、職員の離職が多いように思われたが、管理者は職員の異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育委員が中心となって、新人教育の独自の「新人教育プログラム」を作成し、その有効性を確認する取り組みを実践している。また、外部の研修参加や内部の研修会を開催し、スキルアップに努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会主催の研修会参加や夏祭りでの交流、道南認知症懇話会での研修参加などでサービスの質を向上させていく取り組みが行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には、利用者・家族の見学や面談などで徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を通じて、職員と本人と一緒に調理や調理の準備、散歩や買い物、一緒に新聞を読みながら本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握しながら散歩や畑作業、ベランダでの日光浴、喫茶店での喫食やドライブでの外出など本人を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、毎月カンファレンスを行い本人、家族、必要な関係者と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買い物、喫茶店訪問、寿司などの外食など柔軟に支援を行っている。また、訪問の理美容利用など支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医師や看護師の定期的な訪問や通院への支援、利用者、家族の希望や要望、状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、看取りの指針を職員全員で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、個人情報保護法に対応した記録等の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、夏祭りや体操などのホーム行事参加や散歩、調理や調理の準備、観葉植物の水遣りや入浴なども本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、一緒になってエプロンを着けて調理や食事の準備や後片付けをしている。また、回転ずしやラーメン、弁当持参での観光地見物などの外食も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に支援している。また、1階には昇降式浴槽(特殊浴)を配備し、身体機能の低下に対応できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら職員と本人と一緒に調理や食事の準備、後片付けをしている。また、献立は一人ひとりの希望や嗜好を取り入れ楽しみになるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、ベランダでの外気浴や散歩、喫茶店訪問や町内の夏祭り参加、時には家族と共に外食、四季の杜公園への紅葉など戸外に出かけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないように取り組んでいる。また、暖簾に鈴をつけるなど工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者を配置し、毎月防火管理チェックシートで点検している。また、消防署の協力のもと地域の自警団と連携した火災避難訓練を年2回実施している。</p>		<p>今後は、救急救命講習の実施やAED使用方法について研修を予定しているので実施されることを期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>専門家の助言やアドバイス、職員に分かりやすくカロリー表示の目安を掲示するなど取り組みが行われている。また、具体的な食事摂取量・水分摂取量が記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、利用者の世話する観葉植物や亀が飼育されていたり、テーブルや椅子が配置され利用者同士が談話できる空間づくりになっている。また、ベランダからは、日光浴ができるスペースが確保され季節感も味わえる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、クローゼットが二面配置されて広い造りとなっている。また、テレビや仏壇、使い慣れた家具、家族の写真が飾られ安心して過ごせる場となっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。